



2025年04月02日

再エネ促進プロジェクト「ひょうご版再エネ 100」に賛同

ハリマ化成グループ株式会社

ハリマ化成グループ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長谷川吉弘、以下、当社）は、兵庫県および（公財）ひょうご環境創造協会が推進する再生可能エネルギー普及・促進プログラム「ひょうご版再エネ 100」に賛同し、脱炭素化を推進する事業者としてプロジェクトのサイトで紹介されています。

兵庫県では、温室効果ガス（greenhouse gases、GHG）排出量の74%を占める産業・業務部門において、再生可能エネルギー（以下、再エネ）設備の導入や再エネ電力の利用を促進し、排出削減を目指します。「ひょうご版再エネ 100」は、県内で太陽光、風力、小水力、地熱、バイオマス等の再エネ導入に関わる事業者の取り組みを広く周知し、エネルギーを再エネで賄おうとする事業者を発掘・応援し、再エネの利用拡大を図ります。

当社を含む、県内14の事業者（2025年4月2日現在）が、「電力だけでなく熱を含むエネルギー消費のできる限りすべてを、できるだけ地産地消の再エネで賄おう」というプロジェクトの理念に共感し、脱炭素化を推進しています。

当社は、2021年に、政府が掲げる「2030年にGHGを2013年度比46%削減する」目標を、「3年前倒して2027年に達成し、2030年には50%削減する」方針を表明しました。兵庫県加古川市にある基幹工場「加古川製造所」にバイオマス発電設備（2005年、最大出力4,000kW）、そして高砂市にある「伊保基地」には太陽光発電システム（2014年、発電能力1,129kW）を稼働させ、再エネの利用を進めてきました。これらの設備の稼働や事業ポートフォリオの再構築、省エネルギー活動の推進により、年間平均約4万トンのCO₂を削減し、事業の環境性を高めています。さらに、2023年より、当社初となる「ため池水上太陽光発電事業」を開始し、再エネ導入支援プランを導入するなどの取り組みを進め、加古川製造所では、電力CO₂排出量ゼロ化を実現しています。今後は、国内拠点でのGHG削減活動を継続しつつ、海外拠点にも展開させ、2050年までにグループ全体でカーボンニュートラルの実現を目指しています。

これらの取り組みに加えて、2023年に、創業の地である加古川市と協働し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンパートナー」に選定され、市と協力・連携をしながら、脱炭素に向けた取り組みを強化していきます。

■ 「ひょうご版再エネ 100」 ホームページ・当社紹介ページ

- ・ 「ひょうご版再エネ 100」 ホームページ

<https://hyogo-saiene100.com/>

- ・ 「ひょうご版再エネ 100」 ホームページ

[当社ページ](#)

■ 関連する当社リリース

- ・ 温室効果ガス排出量削減の前倒し達成について

https://www.harima.co.jp/news_release/2021/0616142720.html

- ・ ため池水上太陽光発電事業開始のお知らせ

https://www.harima.co.jp/news_release/2023/0220174344.html

- ・ 加古川製造所が、電力 CO₂排出量のゼロ化を実現

https://www.harima.co.jp/news_release/2023/0329090000.html

- ・ ハリマ化成が、加古川市ゼロカーボンパートナーに選定

<https://www.harima.co.jp/newsroom/2023/0628093000.html>

以上

本件に関するお問い合わせ先
ハリマ化成グループ株式会社
広報グループ
TEL : 06-6201-2477
URL : <https://www.harima.co.jp/inquiry.php>